

2017年度 サポートシステムあゆみ 放課後等デイサービス自己評価表

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・体制について	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準上適切なスペースを確保し、それ以外の部屋も活用している。児童によっては集団の中で落ち着かず、居場所を探している時もあり、今後活動時間帯や部屋を分ける等、都度工夫していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準上必要な人員を配置し、状況(参加児童数・特性・活動内容等)に応じてそれ以上の人員を配置している。
	3	事業所の設備等の安全について常に配慮しているか	○			天井の高さ・照明・段差・扉等、安全に配慮した環境にし、維持管理には気を付けている。退勤時には点検をしている。設備の不良に気付いた事があればすぐに報告し改修している。飛び出しによる事故の防止の為、玄関外側通路に門扉の設置を予定している。
業務改善	4	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			○	課題が出た時には都度改善に向けて検討しているが、系統立てでの取り組みはできていない。今後、課題毎にPDCAサイクルを活用しながら解決に向けて取り組んでいく。
	5	職員の資質の向上の為に、研修の機会を確保しているか		○		外部研修は随時職員に案内しているが、年間通して計画的な受講はしていない。この1年間は内部研修を行っていない。今後、外部・内部研修とも十分に行えるよう計画していく。
適切な支援の提供	6	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者からの聞き取りと事業所での様子を基にアセスメントを行い、丁寧に放課後等デイサービス計画を作成している。より取り組みやすい計画書となるようその方法を模索していく。
	7	子どもの状況を把握する為に、アセスメント表を使用しているか	○			毎年保護者に記入頂いているアセスメント表を、更新時・活動立案時・支援の間隔が空いた時等に確認して活用している。
	8	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			分担・協力して立案し、共有している。毎日、活動の予定を利用者一人ずつに立案している。
	9	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日毎にプログラムを工夫している。固定的な活動内容の中でも、幅を広げていけるよう少しずつ新たな事も取り入れている。
	10	一人ひとりの可能性を広げられるような遊び体験のきっかけを作れているか	○			体験の幅を広げていけるよう一人一人に適時促している。声のかけ方・活動参加の仕方等、継続して検討していく。今後、よりねらいを持った活動も検討していく。また、一人ひとりに対してもより踏み込んで計画していく。
	11	平時・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇には、平時は時間的にできない外出のプログラムや、時間帯・季節に応じた内容を考えている。長期休暇の参加費が高いという意見もあるので、参加費の内訳を明示する等参加しやすいよう検討する。
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			前半は集団活動、後半は個別活動を中心に子どもの状況に応じて支援している。

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
適切な支援の提供	13	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動前にプログラムの内容、役割分担・個別の対応等について打ち合わせをしている。送迎等の兼ね合いで打ち合わせに参加できない職員も表で確認できるようにしているが、よりしっかりと伝達できるよう工夫が必要。
	14	支援終了後には、職員間で必ず振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		担当の子どもの状況について、報告書及び個別記録に記入している。必ず振り返りを行っている訳ではないが、気付いた点があれば職員間で話を共有している。送迎等の為、全員が揃って振り返りする事はできないが、より職員間のコミュニケーションをしっかりとっていく。
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個々の利用児の様子を記録報告し、その内容を常時確認できる。問題があった場合、対応や内容を記入し、共有して話し合いを持っている。
	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		6ヶ月毎のモニタリングを行っているが、利用児童によっては時期が遅れてしまっているケースもある。遅れが出ないように計画的なモニタリングの実施を徹底する。
	17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		基本活動は総則に則って行っている。ガイドラインについて把握していない職員もいるので、周知していく。
関係機関や保護者との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			計画担当職員または普段関わりの多い職員が参加するようにしている。
	19	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			各学校と連絡を取り合っている。
	20	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	担当者会議の中で情報共有する事はあるが、直接連絡は取っていない。今後、新しく利用される児童に対して保護者の許可を得た上で連絡を取っていく。
	21	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今後、必要に応じて保護者の許可を得た上で情報提供していく。
	22	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	必要に応じて連携していく。
	23	地域の人たちと関わっていける活動の機会があるか		○		現在は活動の中では計画していない。以前は幼稚園の園庭をお借りしていたが、こども園に替わってから控えている。地域の公園等に行く際は、児童と共に周囲の方と挨拶等積極的にしている。
	24	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか		○		奈良市地域自立支援協議会の構成メンバーに入っていないが、自立支援協議会主催の研修会には参加している。奈良市障がい児通所支援連絡協議会には毎回参加している。
	25	日頃から子どもの状況等を保護者と伝え合い、共通の理解をしているか	○			終了時・送迎時に過ごし方や様子を伝えている。報告書や時には電話でも状況等を伝えている。保護者からの話で重要な事や共有すべき事は個人ファイルに記録している。
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	相談・助言をさせて頂く事はあるが、ペアレントトレーニングと呼べる程の具体的な支援まではしていない。

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
保護者への説明責任等	27	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に利用や支払い等にかかる必要事項の説明を行っている。変更があった際は、その都度機関紙等で伝えている。
	28	保護者からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談には適時対応するよう努めている。
	29	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者からのご意見を踏まえ、必要性を検討する。
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			案件は少ないが、苦情や質問があった際は誠意を持って対応するよう努め、その記録をファイリングしている。
	31	定期的に会報等を発行し、活動内容や行事予定等の必要な情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、機関紙「わらいふ」を発行し、予定や情報、活動報告等を発信している。
	32	個人情報に十分に注意しているか	○			日頃から取り扱いに注意している。個人名の入った印刷物はファイルに綴じて保管するか、必要がなくなればシュレッダー処理している。
	33	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	○			毎年「あゆみ祭」を開催し、多くの地域の方に参加して頂いている。
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		感染症対応マニュアルは流行時期の前に策定し周知している。緊急時対応については避難訓練等の際に話し合っているが、マニュアル化はできていない。防犯マニュアルは未策定なので、策定・周知する。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか	○			予定より時期が遅れてしまう事はあるが、火災・地震を想定して年間2回ずつ計画して実施している。
	36	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	会議や職員面談等の中で確認し合っているが、研修としてはこの1年間その機会を持っていない。外部研修及び内部研修を受けられるよう計画していく。
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		パニックの際、自傷や他害行為のある児童やてんかん発作の際に激しい痙攣のある児童に対して、本人及び周辺の人々の怪我を防止する為、最小限の範囲で身体拘束を行う可能性のある旨を計画に記載しているが、一部記載できていない児童もいるので、次回見直し時には保護者に説明して記載する。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			日々の活動計画に、アレルギーのある子どもに対して何のアレルギーかを記入し、一目でわかるようマークで印している。
	39	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例を閲覧できるようファイルして周知し、また会議で発表し対応策を共有している。